

まちづくりに参加したいとの思いから実施 神川小6年生10名が影絵制作

神川公民館で2月2日、神川小6年生10名が神川海岸の影絵制作を行いました。町の観光を学習した児童たちからの「まちづくりに参加したい」という提案がきっかけ。神川地区公民館より材料などの提供を受け影絵制作に挑みました。常川和暉くんは「カーブに切り抜くところが難しい」と真剣な表情で取り組んでいました。



影絵制作に住民が参加するのは今回が初めて。卒業記念も兼ねて、でんしろくんやアニメキャラクターの影絵3枚を制作しました。

夏とは一味違った冬花火が夜空を彩る 錦江町商工会が花火打ち上げ

1月14日、午後7時から大根占漁港と田代中央運動場で花火710発が打ち上げられ真冬の澄み切った夜空を彩りました。新型コロナの影響で2年続けて夏祭りが開催できなかったことから錦江町商工会が企画。来場者は静かに夜空を見上げ1日も早い収束を願いました。



「コロナ疲れて沈んだ雰囲気を持拭いたかった。今年こそ夏祭り開催を」と期待を込めた商工会の水流秀作会長。田代会場では、車内から花火を見つめる人も多く見られました。

「垂水市や南大隅町とも同様の協定を締結しており大隅全体の課題解決と活性化を図りたい」と語った森田俊彦代表。(右から2人目)



遊休農地活用で国産飼料生産を目指す 南州エコプロジェクトと連携協定

遊休農地や担い手不足といった課題解決に向けて連携強化を図ろうと、国産飼料生産で畜産業の経営安定化を目指す南州エコプロジェクト(株)と包括連携協定を締結。1月24日の調印式では「耕作放棄地は増え続け輸入飼料も高騰。課題は山積しているが互いに連携し農業振興を図りたい」と新田町長は決意を述べました。

「収穫が待ち遠しい」と口をそろえる岩留大悟くん㊦と上川路健永くん㊧。チョークで付けた印に等間隔で穴を開け丁寧に打ち込みます。



軽やかな音を響かせシイタケ駒打ち体験 大根占小児童が原木シイタケ栽培

大根占小で1月26日、「シイタケの駒打ち」体験会が開かれ3年生28名が参加しました。主催した大隅地域振興局の下田誠司林業技術専門員から説明を受けたあと、準備されたクヌギの原木65本に2,000個の種駒を金づちで打ち込む作業を体験。上川路健永くんは「5年生での収穫が楽しみ」と初めての体験に笑みがこぼれました。

マジックや化学実験など幅広いジャンルの芸風で会場を沸かせた5組。9・1分けのはるか師匠の髪にかなた師匠が息を吹きかける鉄板ネタには大歓声が送られました。鯉太郎さん(右上)



Kinko Town Pickup Photonews

お笑い芸人「ヨンゴピンゴ」 松尾鯉太郎さん里帰りライブ 錦江町を笑いで盛り上げる

「笑いでコロナを吹き飛ばせ!」と題して松竹芸人5組によるお笑いライブが12月25日に文化センターで開催されました。田代出身のお笑い芸人でヨンゴピンゴとして大阪で活動する松尾鯉太郎さんとの縁で実現。来場した約280人を前に地域ネタを混ぜつつ堂々と司会をこなした鯉太郎さんは、漫才でも会場を笑いの渦に巻き込んでいました。

令和4年錦江町消防出初式を開催 士気を高め地域防災力の強化誓う

2年ぶりとなる錦江町消防出初式が1月6日、田代中央運動場で行われました。ラッパ隊を先頭に沿道から送られる声援に迎えられて会場入りした団員120名。式典では日本消防協会功績章を受賞した有村逸雄副団長をはじめ、県知事表彰や消防協会功績章など延べ33名が表彰を受けました。受賞者は11ページに掲載しています。



消防車両11台も出動したパレードに目を輝かせた子どもたち。田代幼年消防クラブも参加し、「火遊びはしない」と力強く宣誓しました。

「警察官になりみんなと協力して平和な社会にしたい」と発表した愛甲慶心くん。夢の実現のために柔道や勉強を頑張ると約束しました。



将来叶えたい夢に向け一歩前進 大学生のサポートを受け夢発見

夢を見つけ実現に向けた一歩を踏み出してほしいと2年前から始まった「夢発見プログラム」の発表会が12月12日に行われました。参加した小学3年から6年の児童6名は、大学生からサポートを受けながら3日間の活動を通して発見した夢を発表。夢を叶えるために今の自分ができることを努力していく大切さを見つけました。